

## 別添資料

### 竹宮恵子の業績について

竹宮恵子は1968年、『週刊マーガレット』（集英社）の新人賞に佳作入選した「リンゴの罪」でデビュー後、代表作の「風と木の詩」「地球へ…」で小学館漫画賞を受賞するなどの活躍で日本の少女マンガの代表的な作家となりました。男性を主人公にした少女マンガの執筆や、少年マンガ誌への連載、同性愛の描写などといったマンガ誌の枠組みを飛び越える活動により、マンガ表現の可能性を広げたことは後のマンガ家たちに大きな影響を与えています。

2000年、マンガ学科の設立と同時に京都精華大学教員となりました。当時まだ高等教育におけるマンガ教育法が確立していないなか、マンガ制作の技術指導のみならず、カリキュラムや教材をつくりあげることで教育体制の構築に尽力してきました。なお、2008年4月から4年間、マンガ学部長を2期連続でつとめました。

マンガ研究者としては、文章では理解しにくい情報をマンガで描くことで、中立的に情報を整理して社会問題などを正確に伝える「機能マンガ」や、退色しやすいデリケートなマンガ原稿の保存と公開を両立させるべく開発した精巧な複製原画である「原画ダッシュ」の開発などを行っています。

著作	マンガ  その他	「風と木の詩」、「地球（テラ）へ…」、 「ファラオの墓」、「イズァローン伝説」、 「天馬の血族」、「時を往く馬」 他多数  「竹宮恵子のマンガ教室」、 「マンガの脚本概論」、「エルメスの道」他
社会的活動	2002年～2005年、2011年～現在 2008年～現在 2009年4月～2012年3月 2010年～現在 2013年3月～現在	文化庁メディア芸術祭マンガ部門 審査委員 手塚治虫文化賞 選考委員 「KYOTO Cross Media Experience」実行委員会委員 日本漫画家協会 常務理事 内閣官房知的財産戦略本部 有識者本部員
受賞歴	1978年 1980年 2001年 2008年 2012年	第9回星雲賞 コミック部門 第25回小学館漫画賞 AVON Award to Women 功績賞 徳島新聞 文化賞 第41回日本漫画家協会賞 文部科学大臣賞